

七高SSH通信

R5/11/19
令和5年度
第9号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

自然科学研究 I (第1学年理数科)

「地学実習」(9月13日)

金沢大学理工学域地球社会基盤学系のロバート・ジェンキンス先生の指導のもと、金沢市大桑町犀川河床にある大桑層(おんまそう)で、「地学実習」を行いました。実習前に、学校で地球誕生から46億年の地球の歴史と生物の進化、および示相化石と示準化石について学習しました。

実習の当日は、ジェンキンス先生から講義を受けた後、大桑層へ移動し貝化石を採取しました。採取した化石は、金沢大学でクリーニングと同定作業をしました。

どの班も多数の化石を手にすることができました。同定した化石から、当時の環境やその変動等について、レポートにまとめました。



SYRS (Symposium for Young Researchers) シンポジウム

11月3日(金・祝)、東京都立戸山高校で行われた「SYRS (Symposium for Young Researchers)」で26Hの木下さん、鍋島さん、畠野さん、松田さんが自然科学研究Ⅱ(課題研究)で取り組んでいる研究をポスターセッションで発表してきました。ポスターセッションでは、第一線で活躍されている研究者の方々から直接コメントをいただくことができました。いただいたコメントは今後の研究に活かす予定です。

また、ポスターセッションに先立ち、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所の秋山茉莉子氏による基調講演、キャリアラウンドテーブルセッションを中心に研究者の方のお話や生徒同士の交流を通じてますます関心を深められる場になりました。



第14回 坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト

第14回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)において、36H大成さん、亀くん、酒井さん、真鶴くんの研究『ナガイモに含まれるシュウ酸カルシウムの結晶を減少させる加熱温度と時間の関係』と、おなじく36H岡本さん、田村さん、松本ちなみさん、宮腰さんの研究『加熱がバナナとネギの部位間の糖度変化に与える影響』が佳作に入選しました。



『ナガイモに含まれるシュウ酸カルシウムの結晶を減少させる加熱温度と時間の関係』



『加熱がバナナとネギの部位間の糖度変化に与える影響』